

# 飯 館

いいたて



- 2 今月の話題「花咲く季節の到来」
- 4 特集「新しい春 新年度予算と主な事業」
- 10 報告「飯館村議会3月定例会」
- 12 ほけんとふくし「コロナワクチン接種」
- 13 お知らせ「各課連絡先と職員配置」ほか
- 17 ほけんとふくし「百歳賀寿」ほか
- 18 飯館百景「卒業式・修了式」
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 そのころはっ／ふれ愛館だより
- 24 おしらせのページ
- 25 入札結果
- 26 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 27 ふるさと資源／ひとのうごき
- 28 HOPES（ホープス）

今月の話題  
vol.12



伊丹沢地区の「飯館復興の桜」。  
會田征男さん・ツタ枝さんが長年  
をかけて植えた約3,000本の桜が  
一面に咲きます。

春  
う  
ら  
ら  
花  
咲  
く  
季  
節  
の  
到  
来

桜も水仙も野の花も 春の訪れを喜び合います

お気に入りの景色に  
出会えますように

マンサクの花が春を告げると、待ちかねたように花々が一斉に咲き始める飯館村。桜を一つ一つも、若木の並木あり、畑の一本桜あり、古木の渾身を感じる一本ありと、趣もさまざま。村内をめぐるのが楽しい季節です。湧水のせせらぎにはミスバシヨウの群生、山の裾野にはカタクリやイチリンソウがひっそりと咲いています。また、庭に花を咲かせている家も多くあります。春色の花々が見事に咲いて、絵本のような美しい景色を見せてくれます。「いいたてオープンガーデンの会」のように、庭を公開している家もあります(要連絡の場合あり)。花の写真は昨春撮影したものです。村内の花の名所の一部です。桜の見頃は例年4月下旬ですが、早い年では4月の中頃にピークを迎えることもあります。今年はどうなるか景色が見られるでしょう。出会いに期待がふくらみます。



何気ない風景の中に点在する花景色。昨春は各所で菜の花畑が見事でした。下は小道を縁取る水仙。



写真は「二枚橋のミスバシヨウ」。清楚な白い花が木々の間を縫うように続きます。



はやま湖畔に咲く「大倉の桜」。開花が早い地区です。お見逃しなく。

「チューリップ・花農園」が開園します



ふくしま未来研究会、建設会社ホクショー、地域創造研究所の3者が共同展開する「飯館村農地再生フラワーガーデンプロジェクト」。この春、佐須地区に約2haのチューリップ・花農園を開園します。35種類、約25万本のチューリップが楽しめます。見頃は4月後半からの見込み。



今月の表紙  
3月26日、東京2020オリンピック聖火リレーが村内で行われました。交流センター「ふれ愛館」ではミニセレブレーションが行われ、「いいたて愛」がヨサコイの演舞で会場を盛り上げました。



# 一人ひとりの物語が「ふるさと」をわくわくさせる

どんな春を  
迎えていますか？

## 新しい春の始まり

### 令和3年度がスタートしました

#### 誰もが「ふるさとの担い手」

東日本大震災の発災から丸10年という節目を越えて迎えた令和3年度。飯館村第6次総合振興計画の実施初年度でもあります。

長泥地区を除く村内の避難指示解除からは、4年が過ぎました。帰村して自宅に戻った人、避難先と村内を行き来して暮らす人、家族が避難先と村内に分かれて暮らす人、村外に暮らし村内で仕事をする人など、さまざまなスタイルが生まれ、その変化も続いています。さらには、村へ移住し村民となる人、村外から飯館村に関わり続けている人も数多くいます。

多様な力をかけ合わせて、新しい村づくりが進められます。誰もが「ふるさとの担い手」です。それぞれの関わり方で、ふるさとの新しい歩みを楽しんでいきましょう。



佐藤 瑠満成さん 佐藤 美絵さん  
(小宮)

美絵さんが嫁いだ南相馬市で生まれた瑠満成さん。小宮の家には、夏休みや年越しを過ぎた楽しい思い出があります。その後、父の仕事で鳥取県に転居。東日本大震災の発災

は、学校の職員室のテレビで知ったそうです。

避難指示が解除されて、祖母が帰村。間もなく瑠満成さん達一家も、一緒に暮らすことになりました。

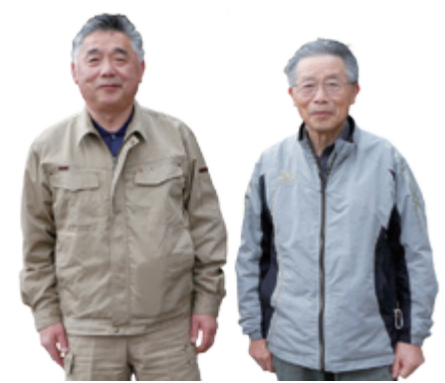
美絵さんは、「までの里のことも園」で給食調理の仕事で、瑠満成さんは、道の駅を運営する「までいガーデンレヅジ」に勤めています。瑠満成さんは、この4月から、道の駅に併設のコンビニエンスストアの店長も務めます。「顔なじみになった方から声をかけてもらえるのがうれしいですね。村で生活する人の必需品をそろえ、ここに来れば何でもあると思ってもらえる店にしたい」と話します。「そして、心の拠り所にもなっていたらいいですね」。

瑠満成さんの言葉を聞いて、「彼なりに頑張っているんですね」と笑顔を見せた美絵さんもまた、現在の職場を楽しんでいます。「子ども達は大人が考えつかないことを言ったりするので、楽しくなります」。

そして美絵さんは、大の動物好き。家には、ヤギや犬もいて、次はニワトリもいな…と思案中だとか。ますますにぎやかな佐藤家になっていきそうです。

#### それぞれに飯館ライフを楽しんでいます

#### 家族を大切に、暮らし方はゆるやかに



赤石澤 富夫さん 赤石澤 武光さん  
(大久保・外内)

「いたて愚真会」で長年活動している、蕎麦打ち名人の武光さん。この春からは「いたて村の道の駅までい館」のレストランで出す蕎麦を、仲間と交替で打つことになりました。武光さんの妻の笑子さんが介護サービスを利用していただくことから、車椅子でも動きやすい家を川俣町に建て、村内の家も建て替えて、息子の富夫さん夫婦と共に、2地域での暮らしを続けてきました。その笑子さんは、新しい家で過ごした後に、昨年他界されたそうです。富夫さんは、家業であった「赤石澤工業装飾」の現代表です。村内の自宅に併設の会社を拠点に、内装工事と畳業を営んでいます。震災後の何年かは、村の仮設住宅の建設などにも携わり、多忙な日々を送りました。今回建てた自宅はどちらも、富夫さんの経験を活かした素敵な住宅です。富夫さんは、この仕事を続けながら、今年の後半からは、夫婦で農業を再開しようと思っています。「年をとってからも、つくりやすいと聞いたので」と、小菊の栽培に挑戦する予定。「少しづつね」とはにかみました。「まだ先のこととは分からないけれど、近くに住む孫が大きくなったら、ゆくゆくは村に戻りたいと思っていますよ」。

武光さんも「本当は毎日でも村に来たいんだ」と話します。武光さんは、この4月で85歳に。家業と農業、蕎麦打ちや山登りの会などで、丁寧楽しんできた村の暮らしを、懐かしく思い出しています。「今年も食べる分だけ畑をうなつて蕎麦をまくよ」と話す、少年のような笑顔になりました。

「ヒマワリ畑は今年もやるよ」と笑顔の勝男さん。阿部家のヒマワリ畑は、メディアやSNSで取り上げられ、毎年遠くからも見物客がやってくる。阿部家の朝は早く、起床はなんと4時半。和翔さんは福島市内の高校に通学しています。避難中は伊達市から仮設校舎に通っていましたが、和翔さんは「飯館中学校には家から通う」と言い続けていたそうです。勝男さんと妻のセツ子さんは、避難指示解除の時期が決まるとすぐに自宅の改修に着手。学校が村内に戻るタイミングで、和翔さんも両親と共に帰村しました。しかも和翔さんの同級生は全員が、村内に戻った飯館中学校に入学しました。和翔さんは、いずれ、祖父・勝男さんの農業を継いでいきたいと思っています。「うれしいね。これから何を生産しようかなあ」と勝男さん。震災前は、加工トマトやミニトマトの生産に忙しく、和翔さんは幼稚園の頃からバケツを持ち歩いて、楽しそうに手伝っていたそうです。「家が一番。何をしてもいいし」と笑顔を見合わせる2人です。「ヒマワリの1回目の種まきはゴールデンウィーク」。電気牧柵の設置も、種まきも、和翔さんは当たり前のように手伝ってきました。「小さい頃から背中を見てきた。じいちゃん、憧れの人」。高校の友達が泊まりに来てパーベキューをしたり、庭に卓球台を出して家族で卓球をしたり、大好きなふるさとでの暮らしを楽しんでいます。和翔さんの一途な想いは、家族の原動力です。



阿部 和翔さん 阿部 勝男さん  
(佐須)

#### ヒマワリ咲くふるさとで、家族と暮らそう

# 令和3年度の主な事業と予算

今年度の主な事業の予算額を紹介します。  
当初予算の歳入と歳出についてはP8をご覧ください。

## 情報通信技術 (ICT) による新しい村づくり

新技術を  
身近に!

- 1. テレワーク推進事業 274万円  
感染症対策を進めるため、役場からテレワークの推進に取り組みます
- 2. 学校ICT支援事業 470万円  
学校に専門支援員を配置して、子どもたちのICT教育を推進します

## ふるさと資源のフル活用

魅力を  
活かして

- 1. 地域おこし協力隊活動事業 3,290万円  
地域おこし協力隊の力を活用し、ふるさとづくりを進めます
- 2. 地域活性化施設管理事業 6,054万円  
宿泊体験館「きこり」、「もりの駅まごころ」の管理費
- 3. もりの駅まごころ修繕事業 3,743万円  
「もりの駅まごころ」の内部修繕工事を行います
- 4. 事業再開帰還促進事業 9,756万円  
プレミアム付き商品券を今年も発行！商談会などのイベントも行います
- 5. 道の駅「までい館」管理運営事業 3,300万円  
「いいたて村の道の駅までい館」の運営管理

## 生き生きとした学びの場を育む

大人も、  
子どもも

- 1. 時を満喫・人生をもっと楽しく交流事業 124万円  
村民の生きがいつくりの継続と村民同士の交流を図るために各講座等を実施
- 2. 被災児童生徒等就学支援事業 1,170万円  
「いいたて希望の里学園」に就学した児童・生徒に、必要な経費を援助します
- 3. スクールバス運営事業 7,815万円  
スクールバスの運行業務、運転業務、その他燃料費等に充てられます

## 生きがいと生業の力強い再生と発展

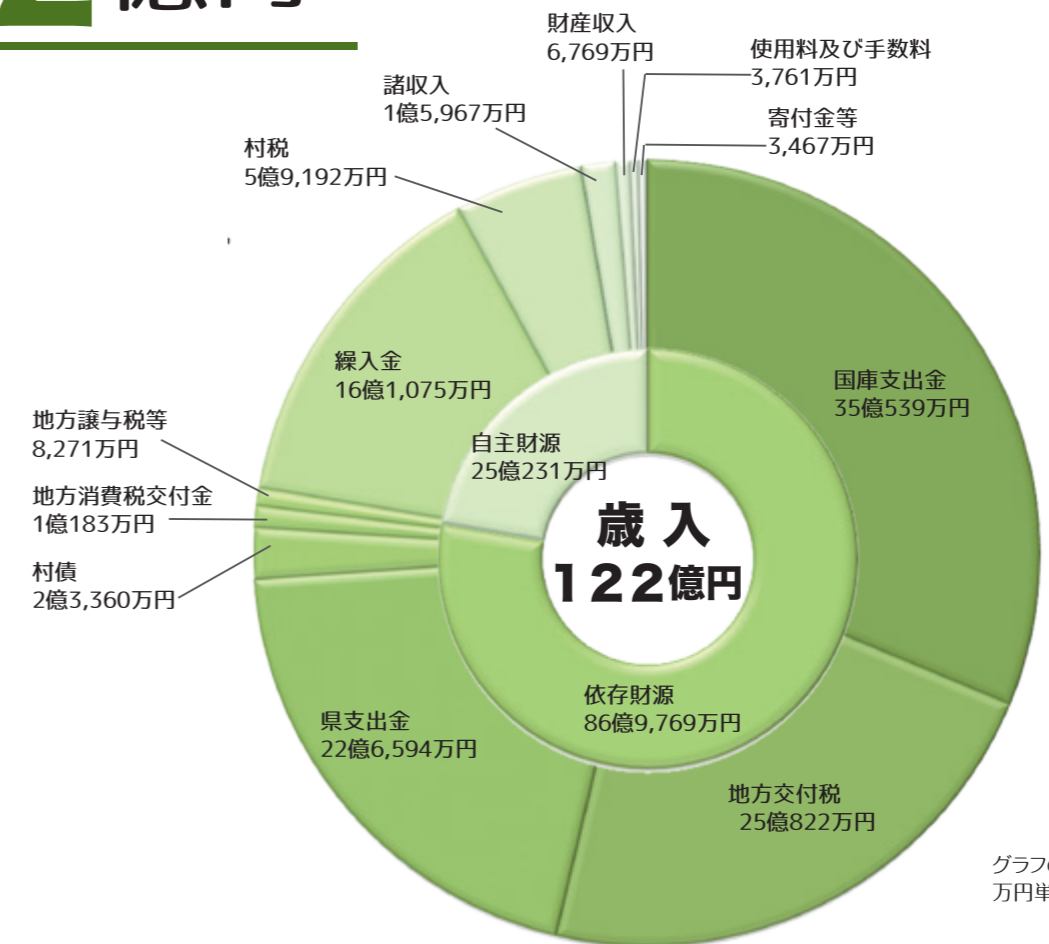
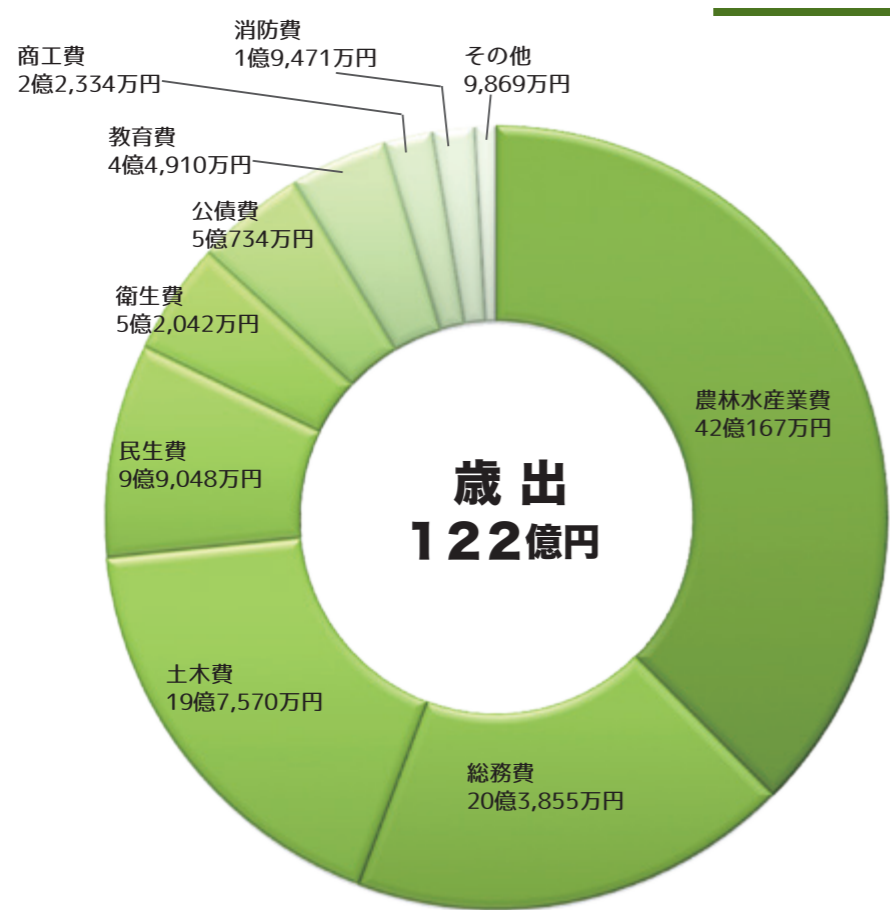
- 1. ふるさとの担い手スタートアップ補助金 1,800万円  
新規起業者(飲食店等就業や就農)への支援補助金 村民も、移住者も
- 2. ふるさとの担い手わくわく補助金 400万円  
ふるさとを楽しみ、磨きあげる、意欲ある村民の取り組みに補助
- 3. みがきあげよう!ふるさと補助金 1,400万円  
地域の魅力向上・課題解決に繋がる行政区主体の取り組みを支援
- 4. 被災地域農業復興総合支援事業 11億5,794万円  
農業の復興に資する農業用機械、施設等の導入を支援
- 5. 営農再開支援事業 6億8,194万円  
除染農地等の保安全管理、鳥獣被害防止施設に整備等

## 健康で生き生きと楽しく暮らせるふるさとづくり

- 1. 総合健診事業 3,684万円  
集団健診、個別健診、人間ドックの委託料等 目指そう健康長寿
- 2. 予防接種事業 2,675万円  
BCG、インフルエンザ他 法定接種の委託料及び助成費等
- 3. サポートセンター運営事業 4,370万円  
サポートセンター「つながっぺ」の運営委託費
- 4. 村外介護サービス送迎事業 4,718万円  
村外の介護サービスを利用する要介護者を村外事業所まで送迎します
- 5. 敬老会事業 551万円  
敬老祝い金、敬老会への協力報償等 楽しい敬老会に

# 令和3年度 当初予算 **112**億円

ひとり **1** ひとり **1** が力を合わせて **2**



グラフの金額は端数処理をし万円単位にしています

## 令和3年度一般会計 歳出

令和3年度における  
村の支出総額

「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」を基本理念としています。村内大部分の避難指示解除から4年が経過し、主要なインフラ等がほぼ整備されたこと。これまで、最優先課題として取り組んできた「東日本大震災からの復旧・復興」から、新たなステップに力強く歩み出す必要があることを踏まえ、当初予算は、「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」を築き上げる予算」としています。

主な事業については6ページをご覧ください。

令和3年度 特別会計	
国民健康保険特別会計	8億5,514万円
簡易水道事業特別会計	1億8,535万円
農業集落排水事業特別会計	1億6,942万円
介護保険特別会計（事業勘定）	10億8,552万円
介護保険特別会計（サービス勘定）	724万円
後期高齢者医療特別会計	7,352万円

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

## 令和3年度一般会計 歳入

令和3年度における  
村の収入総額

**自主財源**  
25億231万円です。前年度に比べ7億8964万円の減額となっています。この主な要因は、国・県支出金を一旦積み立てて使用する「帰還環境整備交付金基金」などの基金繰入金が増えたことなどによるものです。

**依存財源**  
歳入の大半を占める国庫支出金は、35億539万円です。前年度に比べ16億1281万円の減額。地方交付税は、3億5116万円の増額となっています。

### 令和3年度当初予算

令和3年度当初予算は、令和3年第1回村議会定例会で3月19日に可決成立しました。一般会計予算は、112億円で、前年度に比べ11億6,200万円減額、率にして9.4%減となっています。

減額の要因は、伐採支障木処理業務、舗装機能回復工事、農業用排水路保全工事、農業基盤整備測量設計業務などの事業費が減額したことによります。

当初予算のうち、復旧・復興関連予算は64億8,616万円で歳出予算額の57.9%を占めています。

# 令和3年 第1回 飯舘村議会定例会



令和3年3月議会定例会は、3月8日から19日までの日程で開かれました。一般質問は10、11日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は19日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 令和2年度一般会計補正予算
- 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算
- 令和2年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 令和2年度介護保険特別会計補正予算
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 令和3年度一般会計予算
- 令和3年度飯舘村一般会計予算
- 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- 令和3年度国民健康保険特別会計予算
- 令和3年度簡易水道事業特別会計予算
- 令和3年度農業集落排水事業特別会計予算
- 令和3年度介護保険特別会計予算
- 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算
- 令和3年度地域防災センター設置条例
- 税条例等の一部を改正する条例
- 使用料条例の一部を改正する条例
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 介護福祉条例の一部を改正する条例

## 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

- 飯舘村帰還環境整備交付基金条例の一部を改正する条例
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 農林漁業体験実習館の指定管理者の指定について
- 健康増進交流施設の指定管理者の指定について
- 地域資源活用総合交流施設の指定管理者の指定について
- 飯舘村復興震災記録交流施設土木工事請負契約の変更に ついて
- 監査委員の選任について
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

### 第2期復興・創生期間

令和3年度からの、第2期復興・創生期間の開始にあたり、必要な事業を着実に進めると共に、引き続き村民の福祉向上のために必要な施策を講じて、東日本大震災から10年を経過した「ふるさと飯舘村」の創造的復興と未来志向型の取り組みを進めていきます。

### 福島県沖地震

2月13日に発生した地震による被害状況は、公共建物5棟、住家被害が9棟、非住家被害が17棟、その他の被害が11件等で、概ね軽微な被害です。

ただ、宿泊体験館「きこり」については、損傷が激しく、現在、営業を休止せざるを得ない状況です。また、役場本庁舎の屋根瓦も損傷を受けました。今後は、り災証明の発行、施設の復旧修繕について速やかに対応していきます。

## 新型コロナウイルス感染症対策

村民の皆さまの特段のご理解、ご協力により、幸いにも飯舘村内での感染者は出ていない状況を維持していますので、今後も引き続き対策を緩めずに進めていきます。

ワクチン接種については、副反応が生じた際の対応に万全を期すための体制整備を念頭に、村内居住者、村外居住者、高齢者施設入所者、それぞれが円滑に接種を受けることができるよう、庁内にワクチン対策プロジェクトチームを設置して準備を進めてきました。

この結果、村内居住者の接種については、福島市に特段のご配慮・ご協力を賜ることとなりました。また、村外居住者については、高齢者施設入所者を含めて、避難先市町村で接種を受けることができるようになりま

した。福島市をはじめとして、関係市町村に、深く感謝の意を表すところとです。

## 課税関係

震災後の平成23年度から村の固定資産税については免除措置を講じてきましたが、昨年度から周知のとおり、地方税法の改正に伴い、令和3年度から通常課税となります。

なお、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の一部負担金及び保険料(料)は、所得要件を満たす方については、3月1日から引き続き1年間免除されることとなりました。

## 一般廃棄物(可燃ごみ)関係

可燃ごみは、福島地方環境事務所へ委託し、蔵平減容化施設で処理してきましたが、国・村・蔵平行政区による覚書に基づき、2月をもって蔵平減容化施設は稼働を停止します。

4月からの一般廃棄物の焼却処理については、南相馬市から特段のご理解をいただきまして、クリーン原町センターへ焼却処理を委託することとしています。

## 村民の帰還状況

3月1日現在の村への帰還者は643世帯、1251人で帰還率は約24%。これに、震災後の転入者186人といたってホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は770世帯で1481人です。

次に、避難を継続している方の状況ですが、県外に195人、県内は、福島市に2316人、南相馬市に323人、伊達市に279人、川俣町に279人、相馬市に145人など、合わせて3527人です。

## 就園・就学見込み数

こども園は、5歳児8名の卒園に対し、新入園児5名であり、今年度より3名減の54名。学校は、9年生14名卒業に対し、新入生7名であり、今年度より7名減の60名。こども園と学校の合計人数は今年度より10名減となり、114名の見込みとなっています。

令和3年度版

おしらせ

# 飯舘村役場情報2021



飯舘村役場の各課・各係の連絡先一覧を掲載します。今年度から、商工観光係が、産業振興課から村づくり推進課に移りました。ご確認ください。

また、人事異動による新体制についても、併せてお知らせします。

このページは広報から取り外して使うこともできます。ぜひご活用ください。



署名を交わした協定書を手  
に。杉岡村長（左）と木幡市長

ワクチン接種に関する詳しい情報は、同封の「飯舘村 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種のお知らせ」をご覧ください。

## 新型コロナウイルス・ワクチン接種に関する福島市との協定の締結

飯舘村と福島市が、新型コロナウイルス・ワクチン接種に関する協定を締結しました。

この協定により、村内に居住する方（帰還者、転入者等）約1,400人が、福島市で市民と同じようにワクチン接種を受けることができます。

村では、①村民が速やかに、安全かつ安心してワクチン接種を受けられるようにすること、②副反応が生じた際に速やかに救急医療を受けられる体制整備を最優先にすること、③避難先を含む関係市町村、県との緊密な連携を図ること、を方針として、ワクチン接種に向けた準備を進めて来ています。

今回の協定は、医療機関が多く副反応が生じた際の迅速な対応が可能であること、村民の生活圏にあつてかかりつけ医を持つ人が多いこと、避難村民の人数が多いことなどの条件に合致する福島市に村が要請し締結に至ったものです。

福島市役所で署名を交わした杉岡村長は、「福島市、福島市議会、そして市民の皆さまに深く感謝します」と協力への感謝を伝えました。

福島市以外に避難している人は、それぞれの避難先で接種を受けることができます。詳しくは、村が発送する通知をお待ちください。お問い合わせは健康福祉課健康係までお寄せください。

### ●接種場所・個別通知の時期について

(3月25日現在の情報です)

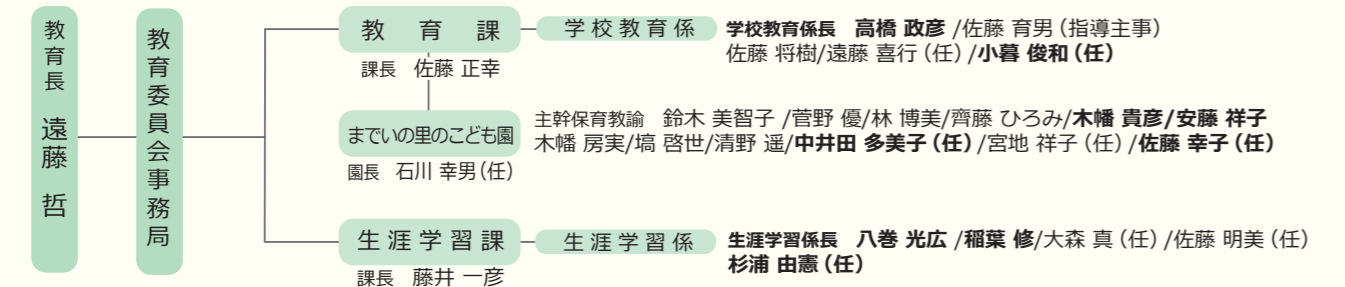
お住いの市町村	接種場所	個別通知時期 (65歳以上の方)	個別通知時期 (64歳以下の方)
飯舘村内 福島市	福島市内の医療機関 または福島市内の集 団接種会場	令和3年4月30日 ごろ通知（※予定）	接種日程が決まり 次第通知
その他の市町村	現在お住いの市町村 の指定場所	令和3年4月2日通知 (3月22日時点の避難 住民届の情報で通知)	接種日程が決まり 次第通知

### ●相談窓口について（注意：この窓口での申し込みや予約はできません）

- ①ワクチンの仕組みや接種への疑問や不安についての相談  
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター  
☎ 0120-761770(フリーダイヤル) 受付時間9時～21時(土日・祝日含む)
- ②村民の接種方法、接種場所等の相談  
村相談窓口(いちばん館健康福祉課内)  
☎ 0244-26-7911 受付時間9時～16時(土日・祝日除く)

# 令和3年度 村の組織と職員の配置

令和3年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。令和3年度の体制は次のとおりです。なお、商工観光係が村づくり推進課に配置となりました。



**退職者** 中井田 多美子  
(令和3年3月31日付)

※太字になっているのが、今回の昇格・異動者です。  
※紙面の都合上、正規職員、任期付職員、派遣職員のみ記載し、職名を一部省略しています。(新)…新規採用職員 (任)…任期付職員 (市町村名)…派遣職員 (併)…他部署との併任 (兼)…他業務との兼任

# 飯舘村役場 各係連絡先

本庁	総務課	総務係 ☎ 0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
		財政係 ☎ 0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、ふるさと納税・義援金等
	村づくり推進課	企画係 ☎ 0244-42-1613	総合計画、特別復興再生拠点整備、広報・広聴、住民懇談会、景観、情報通信基盤整備等
		定住交流係 ☎ 0244-42-1622	移住・定住、空き家・空き地バンク等
		商工観光係 ☎ 0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、観光関係等
	住民課	住民係 ☎ 0244-42-1618	戸籍、住民票、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬、住民相談窓口等
		税務係 ☎ 0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
	産業振興課	農政第一係 ☎ 0244-42-1621	農業振興、農業復興、就農支援、農地中間管理事業、機構集積協力金、畜産、環境再生事業等
		農政第二係 ☎ 0244-42-1625	営農再開支援事業、環境再生事業、獣害対策、モニタリング、水田農業、林業、中山間・多面的事業、土地改良区等
	農業委員会事務局	☎ 0244-42-1621	農業委員会運営、農地法許可申請関係、農地中間管理事業
建設課	建設管理係 ☎ 0244-42-1624	村営住宅整備・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等	
	土木係 ☎ 0244-42-1623	村道、橋梁、河川整備・維持管理等	
	農林土木係 ☎ 0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等	
教育課	学校教育係 ☎ 0244-42-1631	認定こども園、義務教育学校、学童保育、預かり保育、スクールバスの運営等	
会計室	☎ 0244-42-1627	村行政に関する会計業務	
議会事務局	☎ 0244-42-1628	村議会運営に関すること	
交流センター「ふれ愛館」	生涯学習係 ☎ 0244-42-0072 (ふれ愛館)	生涯学習事業、青少年事業、スポーツ公園、文化財保護、読書推進、伝統文化関係等	
	☎ 0244-42-0152 (スポーツ公園管理棟)	社会体育、スポーツ公園、パークゴルフ場	
いちばん館	健康係 ☎ 0244-42-1637	健康増進、成人健診、乳幼児健診、子育て相談、心の相談、予防接種の支援等	
	福祉係 ☎ 0244-42-1633	高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障がい者福祉、児童手当、子育て支援、児童福祉等	
	地域包括支援センター ☎ 0244-42-1626	高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等	





**阿部 キノ** さん（二枚橋・須萱）  
百歳賀寿おめでとうございます。

2月22日、「いいたてホーム」で、阿部キノさんの百歳賀寿が行われました。お祝いは、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら行いました。

阿部さんは、大正10年2月22日生まれ。シュークリームが大好きで、息子さんが差し入れてくれたシュークリームを美味しくに何個も食べられたそうです。

ご家族からのお手紙を紹介します。



ご家族からの手紙 ばあちゃんへ  
ばあちゃん、百寿おめでとう。  
100年間は幸せでしたか？ いろんな事あったけど、素敵な思い出もたくさんあったよね。  
いつも家族の事を一番に考えてくれたばあちゃん。これからはのんびり過ごしてください。  
本当にありがとう。いつまでも元気でいてね。  
家族より

みんなで  
感染対策

**正しい換気の方法** ～適切な換気を行いましょう～



新型コロナウイルス感染症は、3密（密閉・密集・密接）の場面で感染が広がりやすいといわれています。

室内の空気を循環させることで、新型コロナウイルス感染症の予防につながります。

**換気のポイント！**

●こまめな換気を！ 目安は、30分に1回、5分程度換気の際は、空気の流れを作るために、対角線上の窓を2か所以上開放しましょう。窓が1つしかない場合はドアを開けましょう。

●適度な保湿（湿度40%以上が目安）を心がけましょう  
湿度計等を活用し、湿度のチェックを！



**主な施設の連絡先** 公共施設などの住所と連絡先をまとめました



**いいたてスポーツ公園**

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0152 FAX 0244-42-1300  
開館時間：午前9時～午後9時  
※利用申込がない平日は午後5時15分に閉館。  
休館日：年末年始  
※平日の午後5時15分以降、土・日・祝日は、事前予約の上、自主管理で利用が可能です。  
※予約がない土・日・祝日は休館します。



**交流センター「ふれ愛館」**

飯舘村草野字大師堂17  
☎ 0244-42-0072 FAX 0244-42-0860  
開館時間：午前8時30分～午後9時  
※利用申込がない平日は午後5時15分に閉館。  
休館日：年末年始  
※平日の午後5時15分以降、土・日・祝日は、事前予約の上、自主管理で利用が可能です。  
※予約がない土・日・祝日は休館します。



**いいたて希望の里学園**

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0003  
※入学などに関するお問い合わせは  
飯舘村教育委員会 ☎ 0244-42-1631



**まていの里のこども園**

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
☎ 0244-42-0229  
※入園などに関するお問い合わせは  
飯舘村教育委員会 ☎ 0244-42-1631



**飯舘村社会福祉協議会**

飯舘村伊丹沢字伊丹沢571番地  
（陽だまりの家）  
☎ 0244-42-1021 FAX 0244-42-1040

**サポートセンター「つながっぺ」**

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
（いいたてクリニック内）  
☎ 0244-26-5207  
※利用登録は飯舘村社会福祉協議会（上記）へ



# 飯舘 百景

## 卒業式・卒園式

いいたて希望の里学園  
初めての卒業式

今ここに〜つなぐ想い

一 この思い 言葉にしたい  
伝えたい 頑張っている君へ  
苦しいときの やさしさが  
君とのつながり  
小さな幸せ 祈っている

今こそ言おう ありがとう  
今だからこそ 言葉にしよう  
勇気を持って 伝えよう  
心の支えに ありがとう

二 この思い 形にしたい  
前向き 未来に向かって  
苦しいときこそ つながろう  
君への思い  
生きる喜び 伝えたい

今こそ言おう ありがとう  
今 このときを 感じよう  
みんなで言おう 伝えよう  
心を込めて ありがとう

式の後には卒業生が自ら作詞作曲した「今ここに〜つなぐ想い」を披露。あたたかな歌詞とハーモニーにのせて、感謝と未来への希望を高らかに歌い上げました。



令和2年4月に開校した義務教育学校「いいたて希望の里学園」で初めての卒業式が行われ、9年生14人が、思い出深い母校を巣立ちました。

式は3月12日に行われ、吉川武彦校長が、一人ひとりに卒業証書を授与しました。また、渡邊諒介さんが答辞を述べ、「最初の卒業生としてここに立つことを誇りに思う」と学校・家族・地

域に感謝を伝え、「この学校の歴史は始まったばかり。真新しいパトンを皆さんに渡します」と在校生に思いを託しました。

また同18日には「までのりのり」のこども園で卒園式が行われました。石川幸男園長が修了証書を8人の卒園児に手渡し、「自分のことは自分でする—こども園でできていたことがこれからもっと素敵にできるように

頑張ってください」と言葉を贈りました。卒園児は一人ひとりが家族への感謝を発表し、思い出の歌「ずつといっしょ」をいきいきと斉唱。最後まで堂々と式に臨んでいました。玄関前には「いいたて希望の里学園」前期課程の児童が列をつくり、卒園児は拍手と笑顔に包まれながら愛着ある園舎を後にしました。



までのりのりこども園  
卒園式

一人ひとりが堂々と修了証書を受け取りました



卒園式  
までのりのりこども園

園歌を歌う卒園児。感動いっぱいの卒園式



いいたて希望の里学園  
前期課程修了式

言葉と歌で想いを表現する前期課程修了生



いいたて希望の里学園  
卒業式

第1号の卒業証書が授与されました

### #映えないいいいたてトランプ 役場玄関に展示されました



「楽しみながら村を知ることができますね。素晴らしいです」と杉岡村長。笑顔で額を受け取りました

3月9日、「いいいたて希望の里学園」の生徒3人が、「いいいたて学」の活動の中で制作したオリジナルトランプを額に入れ、村役場に届けてくれました。この「#映(ば)えないいいいたてトランプ」は、「飯館村の「個性」を世界の人々に知ってもらおう」と、生徒がアイデアをふんだんに盛り込んで制作。カードのマークごとに「食文化」「自然」「伝統文化」などのテーマを設け、ユーモアたっぷりに村を紹介しています。早速玄関ホールに飾られた#映えないトランプ。素敵に映えちゃってます!

### 蕨平地区仮設焼却施設 2月に稼働を終了しました



村内分28万1,000t、村外分2万6,000t、合わせて30万7,000tの廃棄物を処理(写真は稼働中のもの)

2月24日、約5年間にわたり運用された蕨平地区仮設焼却施設が稼働を終了しました。この施設では、被災家屋等の解体で発生した廃棄物、住民の片付けごみ、可燃性の除染廃棄物などを焼却して減容化(容積を減らすこと)。さらには村民が避難でお世話になった5市町の農業系廃棄物や汚泥を受け入れ、地区住民の理解と協力を得ながら、国が運用を行ってきました。家屋解体など復興事業の推進を支え、稼働期間を延長して活用されました。

### 元気アップポイント表彰式 50ポイント獲得の3人を表彰



3人の方に、表彰状とクオカードが贈られました

3月18日、「いいいたて元気アップ・ポイント事業表彰式」が、交流センター「ふれ愛館」で行われました。「元気アップ・ポイント」は、生涯学習課が実施する事業に参加したり、図書貸し出しを利用したりするたびに付与されるポイント。50ポイント獲得した方を対象に、年1回の表彰を行っています。ポイントは家族分を合算することもできます。今回は、鈴木みつ子さん(深谷)、佐藤勝見さん(前田)、佐藤チヨ子さん(前田)の3人が50ポイントを達成。自己研鑽の努力を称える表彰状と5,000円分のクオカードが贈られました。

### 春季全国火災予防運動に合わせて 役場消防隊が消防訓練



分署職員の説明を受け、一連の手順や動作を確認。理解を深めて、中継送水の合同訓練を実施しました

令和3年「春季全国火災予防運動」に合わせて、役場職員で組織する「役場消防隊」が、飯館分署と合同で訓練を行いました。

訓練は、3月2日、「いいいたてスポーツ公園」管理棟前で実施。役場消防隊に配備された積載車の取扱訓練を行いました。また、大規模火災時にも迅速な現場対応ができるよう、中継送水訓練も実施しました。隊員が、飯館分署職員立ち合いのもと、小型ポンプの各操作を確認し、放水訓練を行いました。

### 飯館村消防団と飯館分署 「防火パレード」を行いました



(上)出発式は交流センターの駐車場で行いました(右)消防車両がパレードに出発

3月7日、飯館村消防団と飯館分署が合同で、防火パレードを実施しました。このパレードは、毎年この時期に全国で展開される「春季全国火災予防運動」に合わせて防火の呼びかけを行うもの。交流センター「ふれ愛館」で出発式を行い、消防車両が列をつくってスタートしました。春先は空気が乾燥し風も吹くため火災が起こりやすい季節です。飯館分署では「村の豊かな自然と皆様の大切な財産を守るためにも火の用心をお願いします」と呼びかけています。

### 皆さんの声をお聞かせください

「広報いいいたて」あてに声をお寄せください。右の専用ハガキに、感想、ご意見、耳寄り情報、近況報告、イラストなど、自由に書いて送ってください。ハガキは線に沿って切り取り、63円切手を貼ってご利用ください。※普通ハガキでも受け付けます。

き が 便 は 9 6 0 1 8 9 2

9 6 0 1 8 9 2

〒960-1892 福島県飯館村役場

飯館村役場 村づくり推進課企画係

広報いいいたて 発行

恐れ入りますが  
63円切手を貼って  
投函してください



村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、村づくり推進課企画係までご連絡ください。

その  
ところはっ  
教えてください  
そのワケを  
#22



作業の手を止め話をしてくれた秀耕さん。

県道をはさんで広がるブルーベリー畑。避難により福島市に移転した「極久里珈琲」の市澤秀耕さん、美由紀さん夫婦（深谷）が、店舗の定休日に手入れを続ける「市澤農園」です。

「もっと手入れをしていかないとね。週1回では追いつかなくて」と秀耕さん。「それなりに収穫ができたのは昨年あたりから」だそうです。「極久里珈琲」でも、このブルーベリーを使ったケーキやジャムが、再び味わえるようになりました。

極久里の旧店舗で田中久美子さん（深谷）が営む「村カフェ753」のベーグル「いたてブルーベリー」にも、香り豊かなこのブルーベリーが、ふんだんに使われています。



極久里珈琲（福島店）にて。秀耕さんと美由紀さん。

暖かい日が続いた3月中旬の火曜日（極久里珈琲の定休日）。農園には、秀耕さんの姿がありました。ブルーベリーの足元には、オオイヌフグリが早くも満開。畑二面が愛らしい小花柄になっていました。「本当は畑をもっと広げていく予定だった」。それは震災の年に止まったままなのです。「そんな、かつこいものじゃないんだ。荒らしておけないから、やっているんだよ」と小さく笑って畑を見渡す秀耕さん。その眼差しの優しさが、この場所を大切に思う気持ちを物語っていました。

市澤農園にブルーベリーが実り始めたーそれは間違いなく、極久里ファンの胸に染みる、うれしいニュースです。



果実の食感を残した風味豊かな極久里のジャム。

村カフェ753のベーグル。

極久里珈琲のブルーベリー畑にて

市澤 秀耕 さん・美由紀 さん（深谷）

「福島アトラス」地図を掲示



制作過程もよく分かる拡大版を掲示。見応えあります。

交流センター「ふれ愛館」に掲示された大きな地図。NPO法人「福島住まい・まちづくりネットワーク」が制作した「福島アトラス」シリーズの飯館村版です。避難地域を丹念に取材しその環境や歴史までを取り込んだ「福島アトラス」は、手描きイラストの鳥瞰図や図解などその表現手法も魅力的。携帯版は無料配布中。

庁舎に漂う珈琲の香り



玄関ホールに設けられたブースで珈琲を販売。カップを持参する人も。

3月19日、役場庁舎に1日限りのカフェがオープンしました。地域おこし協力隊の松尾洋輝さんと弟の勇輝さんによる「エスペロ・カフェ」です。お昼が近づくと、玄関ホールから、かぐわしい珈琲の香りが…。昼休みになると同時に多くの職員が足を運んで、松尾さん達との交流と珈琲の時間を楽しんでいました。

●お願い●

交流センターから本を借りている方で、返却されていない方は、早めの返却をお願いします。

交流センター「ふれ愛館」だより  
交流センター図書報告

令和2年度の図書貸し出しは、のべ1885人の利用がありました。図書の内訳としましては、児童書105冊、その他249冊、合計354冊の貸し出しがありました。その中でも雑誌「ハルメク」の利用が多く、今年度も購入していきたいと思えます。また、読みたい本がありましたらリクエストもお願いします。

移動図書館「こあら号」での貸し出しも行っており、ますので、ご要望がありましたらご連絡ください。



問 交流センター「ふれ愛館」  
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間  
平日：午前8時30分から午後5時

令和3年3月10日現在

広報いいたて専用ハガキ！

お送りいただいたご意見や情報は「広報いいたて」の紙面づくりの参考にさせていただきます。また、いただいた情報を元に取材をさせていただきますので、お名前や連絡先のご記入もお願いいたします。

広報に関するご質問は、お便りやイラストなどご自由に。

お名前 ※必須  
住所 ※必須  
電話番号 ※必須  
メールアドレス

# 入札結果をお知らせします

入札日／1月15日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
いちばん館水栓等改修工事	1,529,000円	(有)長谷川電気工事	令和3年3月下旬
道路台帳整備(補正)業務	2,475,000円	(株)中庭測量コンサルタント 福島営業所	令和3年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)測量設計業務委託 草野地区	66,000,000円	(株)東コンサルタント 相双事業所	令和3年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館東部その2)測量設計業務委託 大倉地区	20,020,000円	(株)福建コンサルタント	令和3年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)測量設計業務委託 比曾地区	29,590,000円	(株)船橋コンサルタント	令和3年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)測量設計業務委託 白石地区	23,320,000円	(有)御堂測量設計事務所	令和3年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)測量設計業務委託 二枚橋・須萱地区	24,970,000円	(有)武藤測量事務所	令和3年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1)用排水路施設等保全工事(水路除草等)	8,800,000円	(一財)飯館村振興公社	令和3年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館東部その1)用排水路施設等保全事業 第2回工事	13,310,000円	(有)渡建工業	令和3年3月下旬
パークゴルフ場給水設備整備工事	14,410,000円	庄司建設工業(株)	令和3年3月下旬

入札日／2月4日(単位：円)

閉校記念コーナー備品購入	1,570,800円	(有)マルショウ事務機	令和3年3月上旬
飯館村復興震災記録交流施設物品棚購入	1,210,000円	(有)フォーピース	令和3年3月上旬
飯館村復興震災記録交流施設什器類購入	8,250,000円	(有)フォーピース	令和3年3月下旬
飯館村復興震災記録交流施設備蓄品購入	2,582,910円	東洋安全防災(株)	令和3年3月下旬

入札日／3月12日(単位：円)

飯館村役場庁舎温水ヒータボイラ交換工事	22,550,000円	コボックス	令和3年3月下旬
宿泊体験館きこり室外機取替工事	2,860,000円	(有)長谷川電気工事	令和3年3月下旬
施設環境整備等業務(深谷復興拠点調整池維持管理作業)	1,210,000円	(有)福相建設	令和3年3月下旬
施設環境整備等業務(センター地区調整池及び沈砂池等管理作業)	2,200,000円	(有)福相建設	令和3年3月下旬
介護報酬改定等システム改修業務	1,694,000円	(株)福島県中央計算センター	令和3年3月下旬

# お知らせ

## 暮らしの情報を お知らせします

広報3月号に掲載した「暮らしの情報」の追加情報をお知らせします。



### 高速道路無料措置延長 令和4年3月末日まで

**高**速道路の無料措置が、令和4年3月31日まで延長されました。この無料措置は、避難区域に居住していた方の生活再建に向けた時帰宅等の支援を目的に行われています。制度利用の際には「ふるさと帰還通行カード(青色)」が必要です。現在利用されているカードは、引き続き利用することができます。

### ごみの収集について 粗大ごみは有料に

**今**年度のごみ収集については、全戸配布のごみ収集カレンダーをご確認ください。  
可燃ごみは、これまで蔵平地区仮設焼却施設で焼却処理をしていましたが、今年度からは南相馬市に委託し「クリーン原町センター」で焼却処理を行います。引き続きごみの分別徹底と減量化にご協力ください。また粗大ごみは、有料での受け入れを再開します。事前に搬入券を購入いただくようになります。詳しくはお知らせ版等で周知します。

### 3月の村の動きと主なできごと

- 2日・春季全国火災予防運動に係る役場消防隊消防訓練 (いいたてスポーツ公園)
- 5日・1歳6か月児健診(いちばん館)
- 7日・春季村内防火広報(防火パレード) (交流センター「ふれ愛館」他)
- 11日・11区農地中間管理事業説明会(前田・八和木集会所)
- 8日・3月議会定例会(村役場議場)
- 11日・3・11メッセージ動画公開
- 12日・いいたて希望の里学園 卒業式(いいたて希望の里学園体育館)
- 14日・上飯桶行政区景観環境勉強会(上飯桶集会所)
- 18日・までのりの里のこども園卒園式(までのりの里のこども園)
- 19日・元気アップポイント表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 19日・学校運営協議会(※オンライン会議)
- 21日・エスペロ・カフェ(地域おこし協力隊・松尾洋輝さんによる「こーヒーイベント」(村役場))
- 22日・飯館村と福島市との新型コロナウィルスワクチン接種に関する協定書締結(福島市役所)
- 21日・19区農地中間管理事業説明会(前田公民館)
- 23日・飯館村と福島市との新型コロナウィルスワクチン接種に関する協定書締結(福島市役所)
- 23日・いいたて希望の里学園 前期課程修了式(いいたて希望の里学園)
- 23日・定例教育委員会(村役場)
- 24日・認知症カフェ「ゆずカフェ」(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・東京2020オリンピック聖火リレー(交流センター「ふれ愛館」)
- 29日・転出教職員離任式(村役場)
- 第2回上下水道運営審議会(村役場)



〈ふるさと資源〉発掘図鑑

掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係  
☎0244-42-1613までお気軽に。

お気に入りの景色、ふるさとを感じるモノ、自分が打ち込んでいるコトなど、あなたの「推し」を広報紙に掲載してみませんか。



後藤恒治さん(伊丹沢)

趣味はレザークラフト。財布やキーケースをつくるのが好きです。廃棄される革を活用している地域のことを知り、村でもできたらいいなと思っています。



自作の財布とキーケースを愛用。使い込んだ風合いも素敵ですね。

村に移住し「いいたてホーム」で働く後藤さんは双葉町の出身。ご家族は福島市に住んでいるそうです。広報にいただいたハガキには「飯館牛革がスランドになったらいいな」とわくわくのアイデアが書かれていました^^



復興を願うメッセージと共に届いた折り紙の「折りびな」。横浜市飯尾幸子さんからの贈り物です。菅野さんが手作りの雛段に飾りました。

雑貨を組み合わせて雛段をつくり、村で栽培されたスターチスのドライフラワーも飾りました。飯尾さんの想いが届いて「皆さんに春の訪れを感じてほしい」と願いながら飾りました。



美しい「折りびな」と細部にこだわった素敵な雛段。多くの方が足を止め見入っていました。

菅野純子さん(村づくり推進課定住交流係)

地域おこし協力隊  
いいたてDIARY  
ダイアリー

旧お試し住宅を使って整備を進めているクリエイター向けシェアレジデンス。

準備中の現在は、クリエイターやアーティストの方が制作活動しながら滞在できる期間になっています。

3月は、ギター奏者の渡邊塊さんと、詩や演劇の創作を行う野宮有姫さんが滞在。

村内の主要スポットのリサーチや村の方との対話をしながら、その場所を通じて得た感覚を即興演奏や詩作に落とし込みます。

表現活動をする方を通して見る飯館村は、普段とはまた違った表情を見せてくれました。



今月のライター

飯館村地域おこし協力隊  
松本 奈々さん

シェアレジデンスでは野宮さんの提案で、自分の「ルーツ」に関する、言葉を使った実験的なワークも実施。渡邊さんが静かにギターを爪弾く中、みんな思い思いに語り合います。



佐野志帆さんの

ラオス通信。

vol.8

歴史的な背景を知る

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？佐野さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！



佐野さんは兵庫県の出身。青年海外協力隊として現地で活動した経験をもとに、佐野さんが見て触れて感じたラオスを教えていただきます。

ジャール平原の壺と爆発跡



回収されたク  
ラスター爆弾



サバードイデー(こんにちは)。みなさんはラオス北部のシエンクワン県に位置する「ジャール平原」をご存じでしょうか。ジャール平原は400を超える巨大な石の壺が並ぶ不思議な平原として有名で、2年前に世界文化遺産にも登録された観光名所です。この壺の作成目的や使用用途はまだまだ解明されていません。大きな壺の横に広がる草原に目を向けると、大きな穴が開いています。これはベトナム戦争時に爆発しなかった爆弾(不発弾)が後に何らかの衝撃によって爆発した跡です。ラオスはベトナム戦争時、補給路であるホーチンミシルートが集中していたために、米軍は航空爆撃を集中的に行い、結果的にラオスは「人当たりの空爆が最も多かった国」となってしまう。10年にわたる戦時下でラオスには200万トン(約8千万発)の爆弾が投下され、そのうち約10%が不発弾であると推定されています。不発弾が多く残る地域では、発見された不発弾の外郭を植木鉢代わりにしたり、一度溶かしてスプーンやペンダントとして使ったりしています。しかし、農耕中に誤って触れたり、子どもがボール型の爆弾で遊んで負傷するなど、40年前の戦争は現在でも住民に被害を与え続けているのです。

次回は  
ラオスの仏教文化  
を紹介します!

ひとのうごき

(令和3年2月28日現在)

人口	今月(前月比)
男	2601人 (-9)
女	2605人 (-14)
計	1832人 (-23)
世帯数	1835戸 (-3)

2月1日~28日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	3人
転出	19人
出生	0人
死亡	7人
(住民基本台帳人口)	

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



おくやみ

氏名	年齢	行政区
西川 ケサヨ	100	宮内
菅野 静江	86	比叡
志賀 サヨ子	89	蕨平
山田 シゲ子	92	伊丹沢
山田 陽子	72	関根・松塚
浦住 政喜	85	前田
赤石澤 好春	75	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

この3月に「いたて希望の里学園」初の卒業生として学び舎を巣立った2人は双子の兄弟です。全村避難となったのは、草野幼稚園の年中児クラスの時。小学校6年間を仮設校舎で過ごし、中学校は村内の校舎に通いました。「多少の不便はあったけれど、楽しかった」「ずっと同級生と一緒で、最後まで

## ふるさと飯館村の「今」を伝えたい

庄司 幸智<sup>ゆきのり</sup>さん（草野）

庄司 幸人<sup>ゆきひと</sup>さん（草野）



学園では幸智さん(左)がバドミントン部で、幸人さん(右)が陸上部で部長を務めました。2人は福島市内の別々の高校に進学します。聖火リレー3日前に話を聞きました。



聖火リレー当日の様子。スタート前のミニセレブレーションにて。交流センター「ふれ愛館」に到着した幸智さん、幸人さんとサポートランナーの仲間達。

楽しく過ごせた」と2人。今はそれぞれの高校生活に期待をふくらませています。

幸智さんが、東京2020オリンピック聖火リレーのランナーに、幸人さんがサポートランナーの1人選ばれました。しかし新型コロナウイルスの影響で、オリンピックは1年間の延期。今回も感染症対策が優先される中で、スタートとなりましたが、2人は堂々と、その舞台に立とうとしていました。「飯館村がこまで復興したということ伝えたい」と幸智さん。幸人さんは「震災で失ったものの方が多いけれど、(皆さんに)『今』を楽しんでほしい」と話しました。大役を担い、想いを込めて、飯館の空の下、聖火を灯して駆け抜けます。

村で暮らす祖父母も1年越しで2人の勇姿を楽しみに待つていたそうです。

### 〈編集後記〉

●今号をもって、広報から異動となりました。これまで関わってくださった全ての皆さんへ心からありがとうをお伝えします。多くの村民の皆さんと言葉を交わし、写真を撮り続け元気と笑顔をもたらしていました。次にお会いした時にはまたおしゃべりさせてください。村民の皆さんが主役の広報いたてを今後ともよろしく願っています。(木幡)

●新型コロナウイルスの影響が続く不安定な状況下でスタートした聖火リレー。その中で、それぞれの思いを持って聖火を掲げるランナーの皆さん。困難な時だからこそ、自分の声に、異なる声に、さまざまな立場の声に、耳を澄まさなくてはと感じます。対策の徹底に皆で協力し、聖火の軌跡が、関わる人の真心を未来に伝えるものになるよう心から願います。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。